

しあわせを
めざして
て手をつなごう

Vol. 59

あした
転機^{てんき}
になれ！





も く じ

スタートライン

2

■ かいせつ解説ページ(高こう齢れい者しゃの人じん権けん)……

13

バトンパス

14

■ かいせつ解説ページ

(ハびょうンかんセン病じんけんに関する人権)……

25

かくしゅそうだんまどぐち
各種相談窓口……………

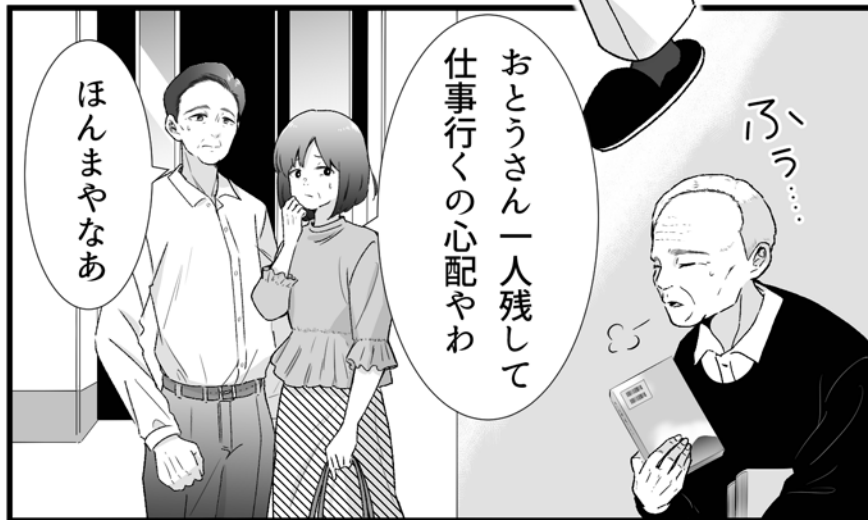
26

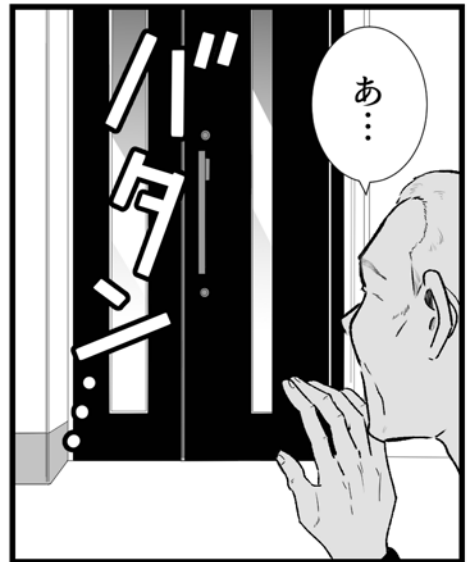
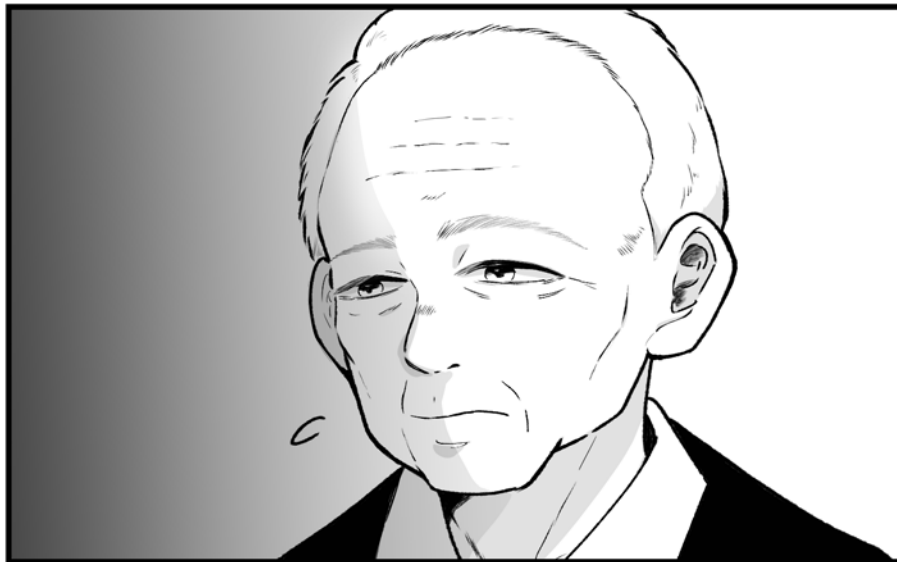
スタート ライン

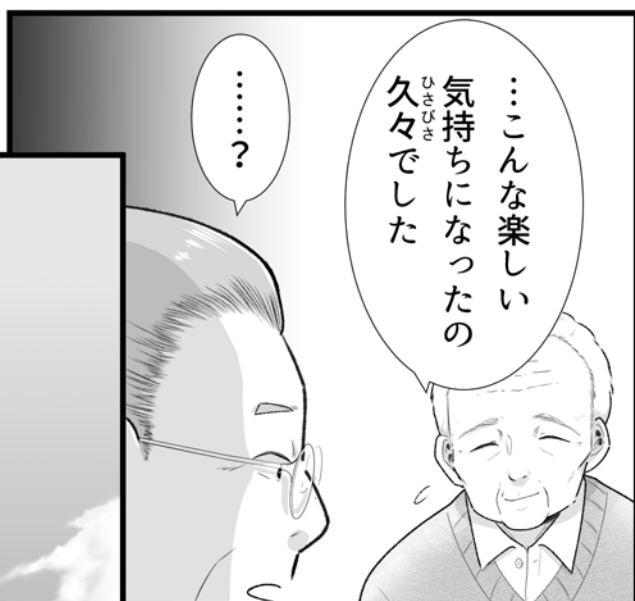


作画：そやま曾山

まい
舞



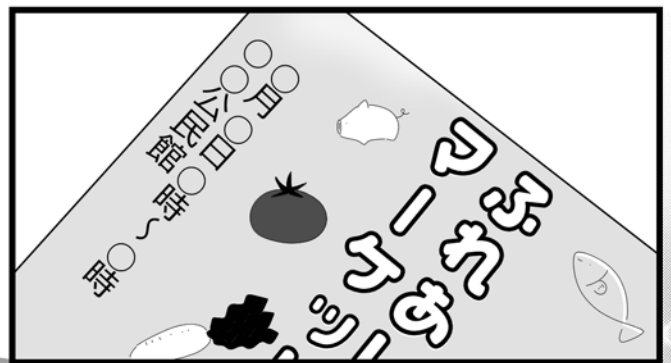
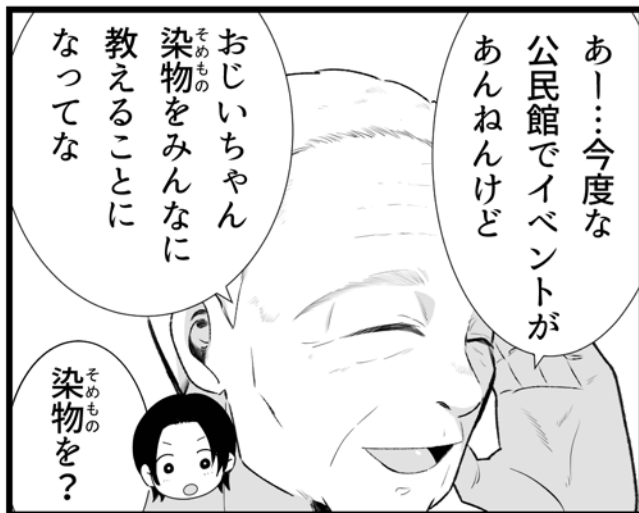






週末







こんな身近に
年配の方や
子どもたちが集まって
楽しく過ごせる
場所があるなんて…

参加してる人たちが
なんかみんな楽しそう



そうやな…
父さんが自分でしたい事とか
逆に私たちのサポートが
あった方が助かる事とか
しっかり話し合って
いかなあかな



おとうさん
もう年やから
身体の心配とか
お金の管理まで
私たちの方で
私たちが
してたけど…
もしかしたら
いろいろ嫌な思いも
あったのかなあ



父さん…



たまに公民館で
やるから
またおいで

おじいちゃん
今日は楽しかった
私またあの
イベント行きたい！



これからいっしょも一緒に
元気に楽しく
暮らしていこう！



豊かな高齢社会の実現へ

誰もが加齢に伴う衰えを避けることはできません。誰もが人としての尊厳を最後まで大切にしてほしいと願っています。年齢に関係なく誰もが社会の一員としていきいきと豊かに暮らしていくためには、高齢者の方を疎外したり、偏見をもったりしていないか、私たちが高齢者の人権について考えていくことが重要です。

高齢者を取り巻く現状

平均寿命の延びや少子化を背景に、高齢化が急速に進行しています。堺市の総人口に占める65歳以上の人口は、令和5年9月末現在で28.3%となっており、今後更に高齢化の進展が見込まれます。また、高齢者世帯の状況を見ると、高齢者のみの世帯数は堺市の全世帯のうち30.8%を占めており、今後も増加が見込まれます。

高齢化が進み、地域社会や家族関係が大きく変容するなかで、下記や右記のグラフのようなさまざまな問題が生じています。まずは、このような問題を人権問題として認識することが肝心です。

身体的虐待

- ベッドに縛りつけたり、意図的に薬を過剰に服用させたりして、身体拘束・抑制をする など

心理的虐待

- 排泄の失敗を嘲笑したり、それを人前で話したりして、高齢者に恥をかかせる
- 侮辱を含めて、子どものように扱う など

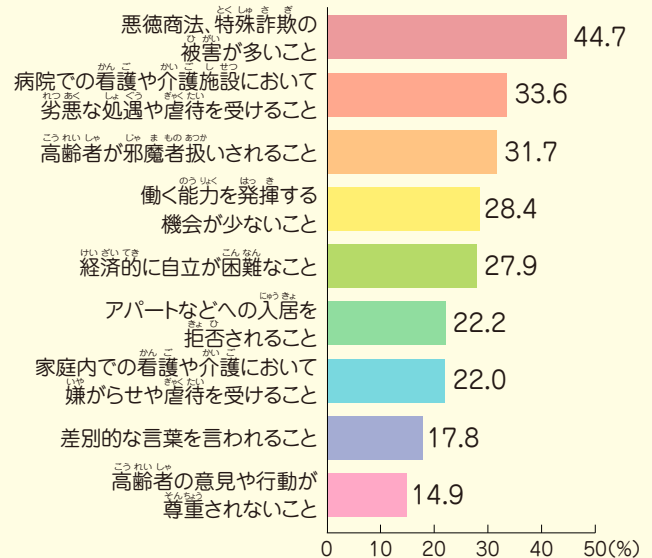
経済的虐待

- 本人の自宅などを本人に無断で売却する
- 年金や預貯金を本人の意思・利益に反して使用する など

介護・世話の放棄・放任

- 室内のごみを放置するなど、劣悪な住環境の中で生活させる
- 同居人による高齢者虐待と同様の行為を放置すること など

あなたが、高齢者に関し、体験したことや、身の回りでも聞いたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



「人権擁護に関する世論調査(令和4年8月調査)」令和4年11月内閣府発表より抜粋

高齢者の方々が「自分らしく」生きていくために

豊かな高齢社会の実現のためには、高齢者の方々の立場に立って気持ちや困難さを想像することが必要です。本人の言葉や感情を受け止めて、思いに耳を傾け、その奥にある気持ちを汲み取っていただき、本人の意志を尊重し、誰もが「自分らしく」いられるように、一人ひとりが高齢者の方々に寄り添いサポートしていきましょう。

堺市の高齢者福祉の取組

堺市では、高齢者の方々をサポートするためのさまざまな取組を行っています。生活支援はもちろん、生きがいづくりのきっかけとなるクラブ活動や講習会、地域の子どもを見守る活動など、その内容は多岐にわたります。詳しくは市のHPをご覧ください。



<https://www.city.sakai.lg.jp/kenko/fukushikaigo/koreishafukushi/index.html>

参考文献 「人権擁護に関する世論調査(令和4年8月調査)」(内閣府)、「第3期堺市人権施策推進計画 令和3年(2021)年」、「高齢者保健福祉ガイドブック」(令和6年度版)、堺市HP「高齢者を取り巻く現状」、堺市HP「生きがいと社会参加」、堺市HP「長寿支援課「地域包括支援センター」※委託事業」

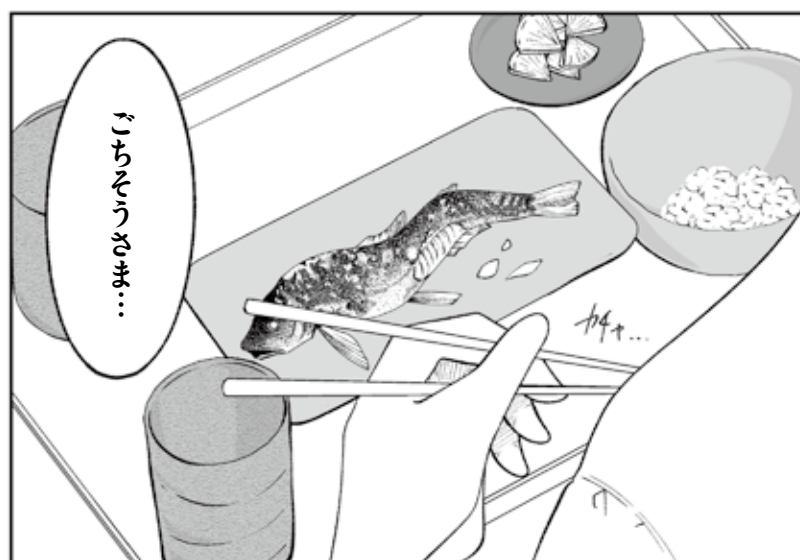
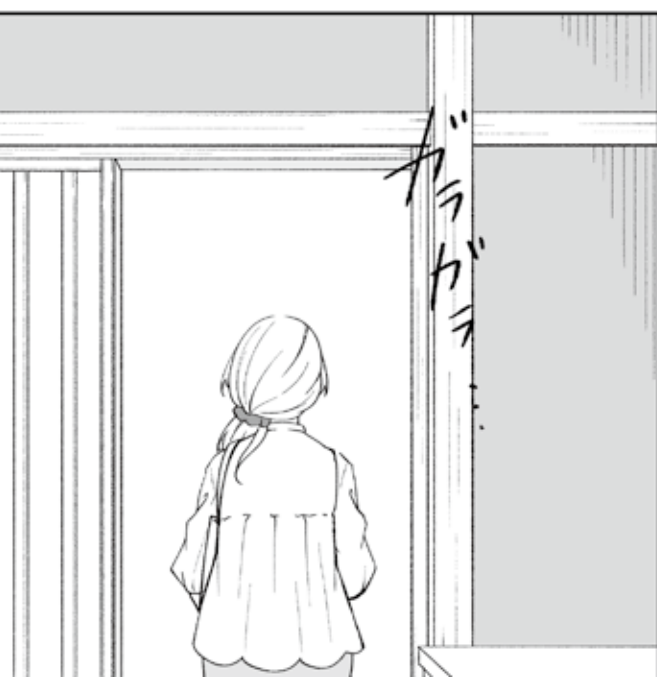


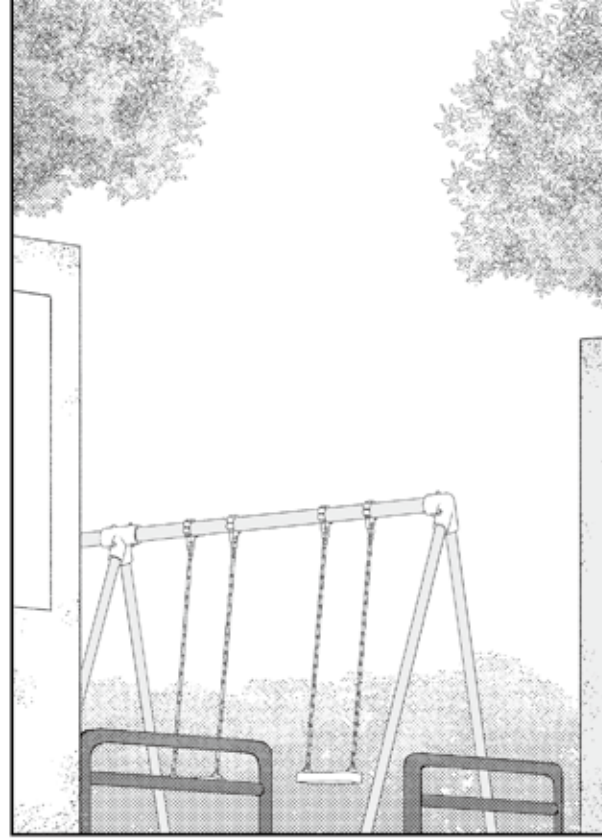
バトンパス

Baton pass



作画
雪森かさ乃









ハンセン病…
ですか？



…辛^{つら}かったやろう
私^{わたし}その気持ち^いが
痛いほどわかるんや

昔^{むかし}同じようなことを
経験^{けいけん}していてねえ

実は私^{わたし}もハンセン病で
いろんなことを
言われたんや



そう今の若い子^{わか}たちは
あまり知らないと思うけど

私^{わたし}の子どもの頃^{ころ}は
ハンセン病は感染^{かんせん}力が
非常に強い病^{びょう}気^きと
思われていて

※隔離^{かくり}する以外に感^{かん}染^{せん}を
予^よ防^{ぼう}する方法がないと
言われててな

当^ち時^じは治^ち療^{りょう}法^{ほう}も
確^{かく}立^{りつ}してなくて

※隔離＝伝染病患者などを一般から離して一定の場所におくこと



ハンセン病は
皮膚^{ひふ}がただれたり
ひどくなると
神経^{しんけい}が麻痺^{まひ}して

顔や手足に變形が
起こったりする
病^{びょう}気^きでな

…中^{せつだん}には手足を悪くして
切^{せつだん}断^{だん}する人や
失^{しつ}明^{めい}する人もいたんや

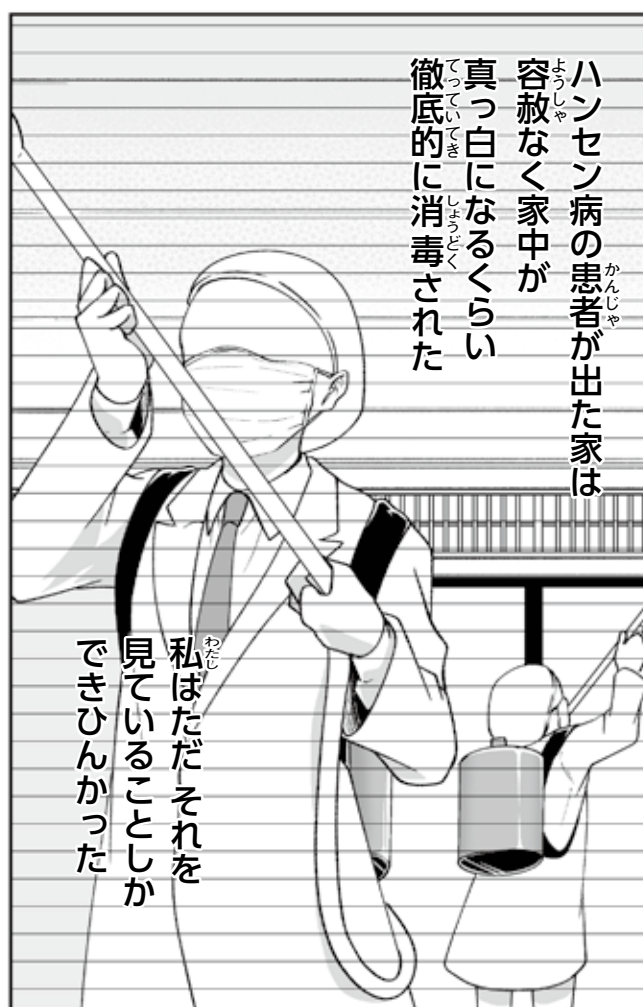


だから
ハンセン病の
症状が出た人は
その家族を含めて
近所の人たちから
嫌がられて
偏見や差別を
たくさん受けてなあ



あの家の子
ハンセン病
やったんやな
うちの子に
うつてたら
どうしよう

ちょっと！
近づいたらあかん！
はなれなさい



ハンセン病の患者が出た家は
容赦なく家中が
真っ白になるくらい
徹底的に消毒された

私ばただそれ
を見ていることしか
できひんかった



それだけじゃない
偏見や差別によって
家族に迷惑がかかると

偽名を使うように
強要されたり

親がハンセン病だから
という理由で
学校でいじめられ

友だちだけでなく
先生からも差別を
受けた子もいたんや

ハンセン病に感染した
人たちに對して
そんなひどい偏見や
差別があったなんて…

なんだか
コロナ禍の現状と
とても似ていますね

ああコロナという
感染症が出てきて
世間の流れをみていると

私は当時を思い出して
また繰り返し
しまうんやなって
思うわ…

言いくいかも
しれませんが…

どんなお辛い経験
をされたんですか？

そうやなあ…

国がハンセン病の人たちを
療養所に入所させる
法律をつくって
みんなそこへ
入れられたんや

療養所で過ごせるなら
安心して病気を治すことが
できたんじゃないですか？

そう思うやろ？

でも実際
療養所というのは
病気の人が
治療のために過
場所ではなかったんや



療養所内では
土木工事などの重労働も
患者たちに強いられて

そのせいで
手足を失うような症状に
悪化する人も
少なくなかった



当時は病気が
遺伝するかもしれない
ということ

多くは
子どもをもうけることも
許されなかったんや



看護師さんも少なくて
患者どうしで
包帯を交換したり

使った包帯を洗ったり
全部自分たちで
やらされた



：ハンセン病の
人たちが
今はどうされて
いるんですか？

そのあと
ハンセン病に関する
隔離制度は
廃止されたんやけど

実際はそう簡単に
偏見や差別は
なくならんかった



病気だからって
そんな権利まで
奪われるんですか

患者どうしで
看護するなんて
ありえない…

昔は自分の過去を
夫や我が子にも
話せへんかった

でも
ハンセン病回復者を
支援する人に出会って

自分のことを
打ち明けて話したら
少し気持ちが楽になって

…そやから
あなたは間違っ
てないし
何も悪くない

その出会いが
あったからこそ

今少しずつ
前を向いて
生きていける

人は不安のなかでは
自分や身内を守るために
簡単に人を傷つけて
しまうことがある

これからも
周りに負けず
自分や家族を
大切にするんやで

いつの時代も感染症によって
偏見や差別を受けている人たちが
いるなんておかしいと思います

だからこそ
これ以上傷つく人が
生まれないように

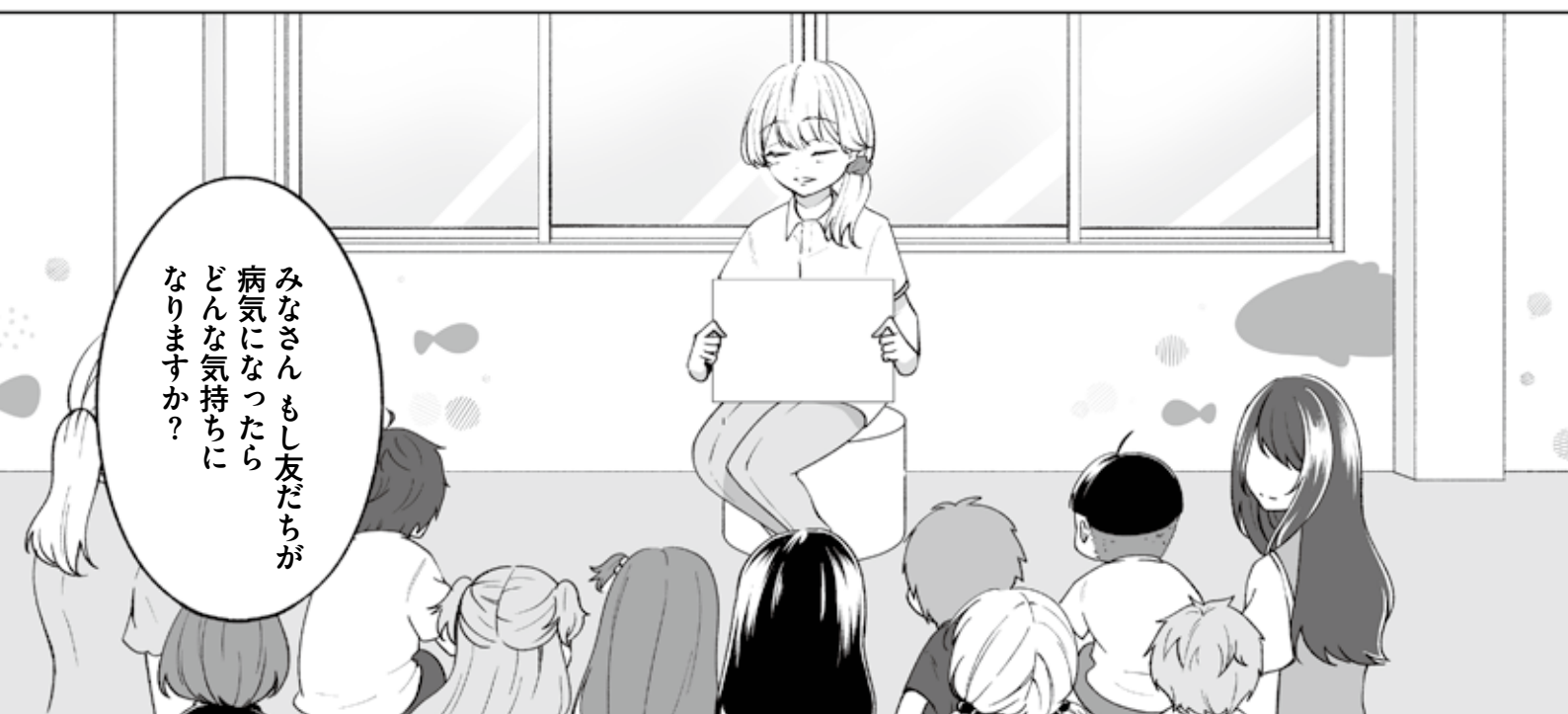
私にできることを探して
取り組んでいきたい
という気持ちになりました

良かったら
またお話できると
嬉しいです

少しでも
勇気を与えられて
よかった

それじゃ…
私はそろそろ行くわ
いつもこの時間この公園に
おることが多いから

しゃべりたくなったら
いつでもおいで





わからないことに
対して「怖い」という
感情から大げさに反応し

相手に攻撃的になったり
どこかへ追い払ったり
してはいけません

お互いの人権を
尊重することが
大事なんです

日本にも感染症への
偏見や差別で
辛い思いをした人たちが
たくさんいます



コロナの
ことかな…

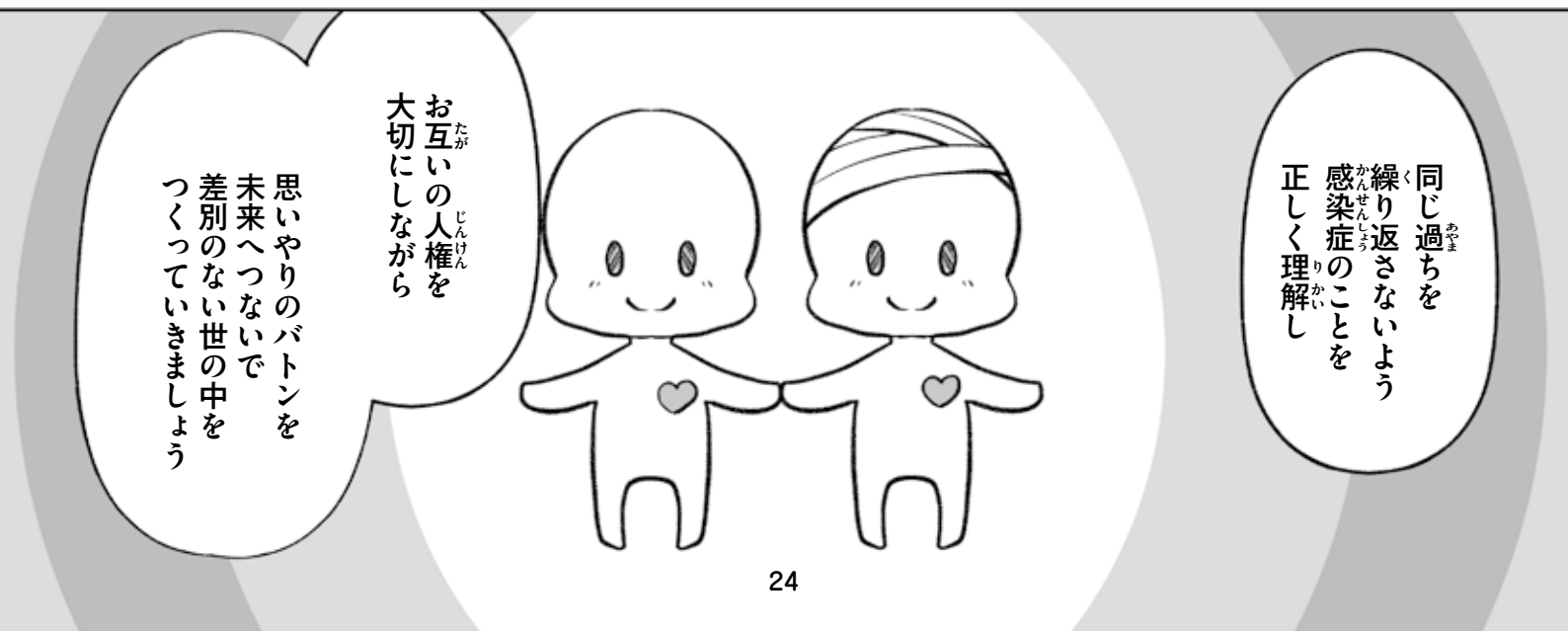
おかしい

なんで差別
するんやろ

…もし誰かが
感染症になっても
相手を思いやる
心を決して忘れず

お互いのことを
大切にしなければ
なりません

自分は相手を傷つけていないか
みんな考えていきましよう



同じ過ちを
繰り返さないよう
感染症のことを
正しく理解し

お互いの人権を
大切にしながら

思いやりのバトンを
未来へつないで
差別のない世の中を
つくっていきましよう

ハンセン病に学ぶ 偏見や差別のない社会の実現に向けて

現代ではほとんど感染・発病することのない「ハンセン病」。しかし、かつて日本ではハンセン病に対する間違った認識のもと、国をあげての隔離政策が行われていました。そうして生まれた偏見や差別が今もなお社会には根強く残っており、ハンセン病患者・回復者やその家族の中には、自身の生い立ち等を隠さざるを得ない人がいます。社会に残る偏見や差別を無くしていくことが必要なのです。ハンセン病問題は、決して過去のことでありません。

● ハンセン病とは

「らい菌」に感染することで起こる病気のこと。感染し発病すると、症状が皮膚に現れるだけでなく、手足などの末梢神経が麻痺し、汗が出なくなる、痛い・冷たいなどの感覚がなくなるなどの症状が現れます。現代の日本においては衛生状況や生活環境の向上により、ほとんど感染・発病しません。



● ハンセン病の歴史

古くは『日本書紀』や『今昔物語集』にも記載のあるハンセン病。その偏見や差別を大きくしたのは、明治時代の「癩予防二関スル件」からはじまった隔離政策でした。1931年には「癩予防法」が成立し、その後各県が競って患者を見つけたし強制的に療養所へ入所させる「無らい県運動」が本格化しました。こうした政策は、国民にハンセン病に対する誤った認識を植え付けていきました。

● ハンセン病患者や回復者、その家族の苦しみ

療養所では症状の度合いに合わせた労働（＝患者作業）が強いられ、症状の軽い人は症状の重い人の世話をしていました。施設からの逃亡を防げるとの考えがあったため結婚は許されましたが、遺伝性があるといった誤った知識により多くの患者は子どもをもうけることを許されず、無理矢理中絶や断種手術をさせられました。患者の人生を破壊するような人権侵害が当たり前のように行われていたのです。さらにその被害は回復者やその家族にも及んでいます。

社会に残る偏見や差別をおそれ「自分の素性を言えない」など、今でも苦しんでいる方がいます。偏見や差別を無くしていくために、私たち一人ひとりが、ハンセン病や感染症について正しく知ること。そして、相手の人権を尊重したうえで、行動していくことが、偏見や差別のない社会の実現へと繋がっていくのです。



参考文献 厚生労働省「ハンセン病の向こう側」（2021）

法務省人権擁護局／公益財団法人人権教育啓発推進センター「ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～」(2020)

ハンセン病回復者と家族のための相談窓口

- 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会 ハンセン病回復者支援センター
- ☎ 06-7506-9424 FAX.06-7506-9425（月～金 9：00～17：00／祝日・年末年始を除く）
- メールアドレス：hansensoudan@osaka-saiseikai.jp

各種相談窓口

子どものための相談窓口

- 子ども電話教育相談「こころホーン」
☎ 072-270-5561 (24時間365日対応)
- ソフィア教育相談 (ソフィア・堺5階)
☎ 072-270-8121 (予約による面接相談、
火～土 9:00～17:30、祝日等を除く)

- ふれあい教育相談 (人権ふれあいセンター3階)
☎ 072-245-2527 (予約による面接相談、
火～土 9:00～17:30、祝日等を除く)
- 子どもの悩み相談フリーダイヤル (大阪府)
☎ 0120-7285-25 (24時間365日対応)

かくしゅじんけんそうだんまどぐち 各種人権相談窓口

- 市民相談・人権相談 (各区役所)
(月～金 9:00～17:00、祝日等を除く)

さかい 区	☎ 072-228-7403 FAX.072-228-7844
なか 中区	☎ 072-270-8181 FAX.072-270-8101
ひがし 東区	☎ 072-287-8100 FAX.072-287-8113
にし 西区	☎ 072-275-1901 FAX.072-275-1915
みなみ 南区	☎ 072-290-1800 FAX.072-290-1814
きた 北区	☎ 072-258-6706 FAX.072-258-6817
みはら 美原区	☎ 072-363-9311 FAX.072-362-7532

- 人権相談
【堺市立人権ふれあいセンター (あいてらす堺)】
☎ 072-245-2530
FAX.072-245-2535
(火～日 9:00～17:30、年末年始を除く、月曜日が
祝日の場合は開館)

- 【ダイバーシティ推進部 人権推進課「人権相談ダイヤル」】
☎ 072-228-7364
FAX.072-228-8070
(月～金 9:00～12:00、13:00～16:30、
祝日等を除く)

- 差別落書・文書・発言を見聞きした時は…
【ダイバーシティ推進部 ダイバーシティ企画課】
☎ 072-228-7159
FAX.072-228-8070
【学校教育部 人権教育課】
☎ 072-228-7484
FAX.072-228-7421
(いずれも月～金 9:00～17:30、祝日等を除く)

がいこくじん じんけん かん そうだんまどぐち 外国人の人権に関する相談窓口

- 堺市立多文化交流プラザ・さかい
☎ 072-340-1090
FAX.072-340-1091
(月～金 10:00～12:00、
13:00～16:00、祝休日等を除く)



- 大阪法務局内人権相談室
☎ 0570-090911
(月～金 9:00～17:00、年末年始を除く)

せいぼうりょく くる
性暴力に苦しんでいませんか？（性暴力受診受付・相談）

きんきゅう じ たいしょ
緊急時の対処

- 性暴力救援センター・大阪 SACHICO
（病院拠点型ワンストップセンター）
☎ 072-330-0799（24 時間ホットライン）
短縮ダイヤル #8891（はやくワンストップ）
- SAP 子どもサポートセンター [サチッコ]
☎ 06-6632-0699
（月～水 14:00～18:00、祝日等を除く）

さかい し りつそうごう い りょう
● 堺市立総合医療センター

（性暴力被害者医療受診専用ホットライン）
☎ 080-8925-8880（24 時間対応）

● こころの健康センター（心理カウンセリング）
※予約制

☎ 072-245-9192
FAX.072-241-0005
（月～金 9:00～17:30、祝日等を除く）

せいてき し こうおよ せい じ にん かん そうだんまどくち
性的指向及び性自認に関する相談窓口

- 弁護士によるLGBTsのための電話相談
☎ 06-6364-6251【相談料無料】【大阪弁護士会主催】
（毎月第4月曜日、16:00～18:00、祝祭日・年末年始の日程は大阪弁護士会のHPを確認ください。）

インターネットトラブル相談窓口

はんざいせい ば あい
犯罪性がある場合

- サイバー犯罪に関する
通報・相談・情報提供（大阪府警）



- 警察相談専用電話（警察本部府民応接センター）

☎ #9110
局番なし（月～金 9:00～17:45）
※緊急性がある場合は110番通報を。

インターネットでのいじめや

人権に関する相談（法務省）

- みんなの人権 110 番
☎ 0570-003-110
（月～金 8:30～17:15、祝日等を除く）
- こどもの人権 110 番
☎ 0120-007-110
（月～金 8:30～17:15、祝日等を除く）

じょせい じんけん
● 女性の人権ホットライン

☎ 0570-070-810
（月～金 8:30～17:15、祝日等を除く）

がっこう かん そうだん
● 学校でのトラブルに関する相談

- すこやかホットライン（子ども専用）
（大阪府教育センター）

☎ 06-6607-7361
（月～金 9:30～17:30、祝日等を除く）

メールアドレス sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp

かね しょうひん かん そうだん
● お金や商品・サービスなどに関する相談

- 消費者ホットライン（消費者庁）

☎ 188（いやや！）
局番なし（原則毎日、年末年始を除く）

さかい し りつしょう ひ せいかつ
● 堺市立消費生活センター

☎ 072-221-7146
（月～金 9:00～17:00、
祝日等を除く）

FAX.072-221-2796



じんけん
人権ナビ

しあわせをめざして手をつなごう 第59集

2024年（令和6年）12月発行 編集：堺市・堺市教育委員会 発行：堺市教育委員会事務局学校教育部人権教育課

